

TEAMさくらまち

自ら学び 自ら考え 自ら行う

令和7年4月7日

長崎市立桜町小学校 校長 片岡 勝志



新年度スタート

この4月から桜町小学校にお世話になることになりました、校長の片岡勝志と申します。隣の伊良林小学校からまいりました。どうぞよろしくお願いします。

実は私、今から20年ほど前になりますが、平成13年度から18年度までの6年間、教諭としてこの学校に勤務していました。この校舎が新築落成し、夜に新興善の旧校舎（現在の市立図書館の場所）から引っ越ししたのを今でも鮮明に覚えています。校舎の中は当時とは少し変わりましたが、中を歩いて回ると、「ああ、ここで子供たちとよく遊んでいたな」などと、当時のことが蘇ってきます。「桜っ子くんち」「桜町オリンピック（当時の名称）」・・・素晴らしい思い出がたくさん詰まったこの桜町小学校に校長として勤務させていただいたことに、大きなご縁を感じています。

さて、校長として赴任した私の最初の仕事は、学校経営の方針を先生方に示すことでした。どの子にも望ましい生活習慣を身に付けてほしい。進んで学習に取り組んでほしい。スポーツもできるようになってほしい。子供を徹底的に鍛えたい。本当に様々な思いがあります。

でも、私にとっての一番の願いは、子供が元気に一日を過ごし、今日もよくがんばったなあ、楽しかったなあと笑顔で家路につく。そんな毎日が待っている学校でありたいということです。

今年度の学校の方針は、以下のようにしています。

【学校教育目標】

「自ら学び 自ら考え 自ら行う」 本校が目指しているのは、自立する子供の育成です。

【めざす子供像】

「よく考え工夫する子供（自立）」「助け合い励ましあう子供（共生）」「明るくたくましい子供（健康）」

【学校経営方針】

「チームになろう すべての子供の成長を支えるために」

【学校づくりの5つの柱】

- 1 大切なのは日々の授業
- 2 みんなで楽しく学べる研修に
- 3 活気のある同僚性の高い職員室に
- 4 働き方改革の積極的な推進
- 5 保護者や地域の方々とのつながりを大切に

子供の健やかな成長のためには、学校の職員と保護者の皆さんがよい関係を築くことが大切であることは、言うまでもありません。私たち学校職員と保護者の皆さんは、「子供を成長させたい、幸せに生きていけるようにしたい」という同じ願いを持っています。そして、学校の職員と保護者の皆さんは、子供たちを育てる上での車の両輪です。どちらが欠いてもいけませんし、違う方向を向いていてもいけません。学校では先生がこうしろと言う。家庭ではお家の人がこうしろと別のことを言う。子供への話が学校と家庭で違っては、子供はどちらに進んでよいのか分からなくなってしまいます。だからこそ、よい関係を築いていきたいのです。

家庭や地域との連携を深め、子供たちの健全育成に向けて、しっかりと取り組んでまいります。一年間、どうぞよろしくお願いします。